



365日、屋上は 厳しい自然の風雨に 曝されています。

現在一般的に使用されている丸環は、先付型のため、防水工法によっては無用の切り込みや意匠を無視した継ぎ貼り等を余儀なくされています。特に丸環(平足または軸部)と防水層との納まりをシーリング処理に依存している現状ではシーリング材の劣化が大きな問題となっています。



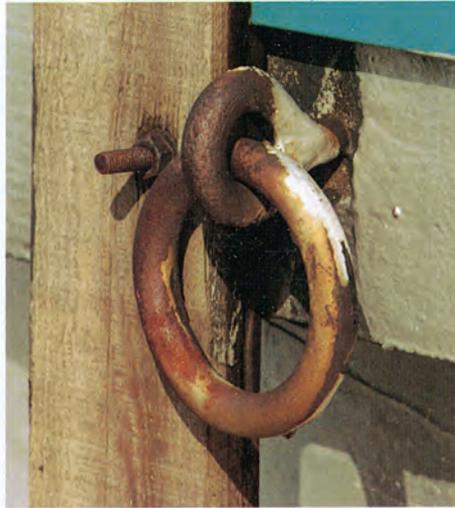
アスファルト露出防水



アクリル系弾性吹付タイル



パラペット回り鉄板包貼り



塗膜防水



シート防水



シート防水



シート防水(立上り弾性吹付タイル)

屋上の厳しい自然条件に曝されている状況下、丸環の材質によっては腐食、破損が著しく安全な使用に耐えられないものも多くあります。また、パラペットの突起物と防水層との取り合いから侵入した水が、本防水まで傷つけるケースが多々見受けられます。



いま注目されている 後付け工法 完全防水システム。

ハイグレードステンレス



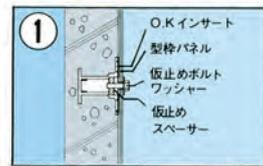
全方向自在式丸環

特長

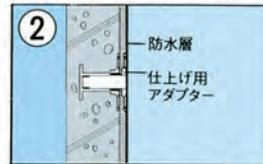
- 1 ステンレス製で耐食性、耐錆性に優れた耐久強度が抜群。
- 2 O.K丸環の挟着プレートと各種防水層（ルーフィング）が完全にシールされ雨仕舞は完璧。
- 3 後付工法のため防水層に無用の切り貼り不要。
- 4 塩ビシート防水・ゴムシート防水・塗膜

- 防水・アスファルト露出防水など、あらゆる防水工法に適応。
- 5 丸環部が360度回転するため、多方向の引張力に対応。
 - 6 将来のメンテナンスにおいても丸環の装着、取りはずしが可能。
 - 7 ステンレスのもつ美しい仕上がり、屋上を常に清潔に保ち建物のイメージを高める。

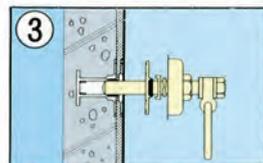
施工手順



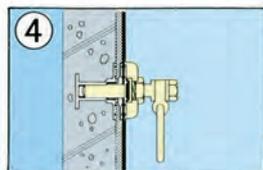
- 1) O.K.インサートを仮止めスペンサー及び付属のボルトで型枠に取付ける。
- 2) 仮止めスペンサーは最後まで締め、挟着面より出ないようにする。



- 1) 挟着面の仮止めスペンサーを除去し防水を施す。
※モルタル仕上げの場合はO.K.インサートに仕上用アダプターを装着し調整する。(調整範囲10~25%)

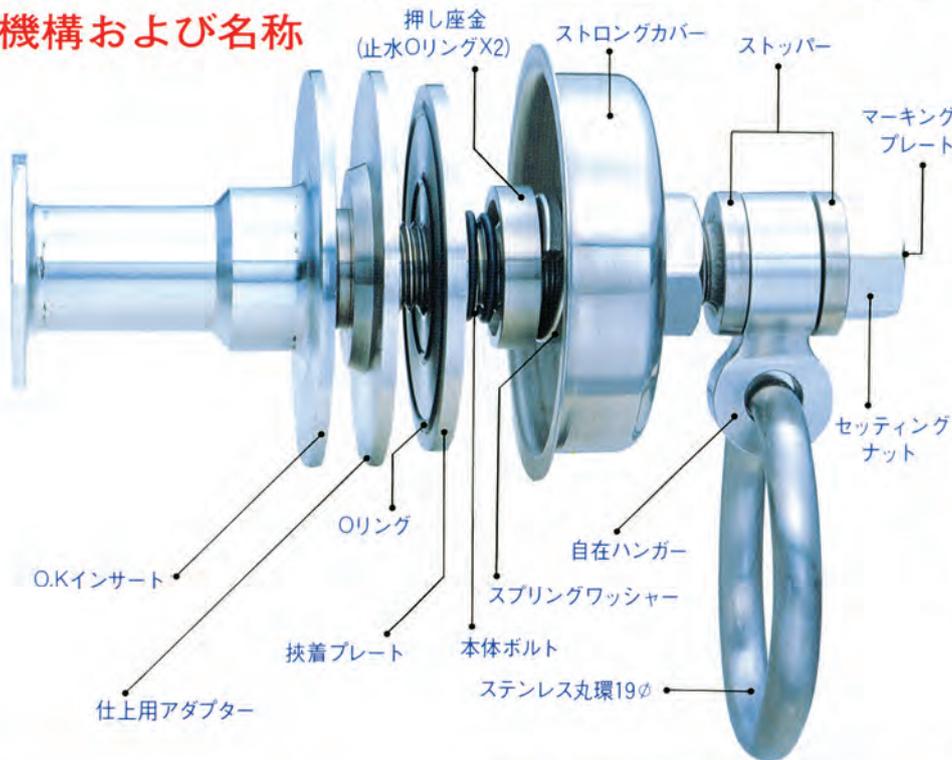


- 1) O.K.インサート（またはアダプター）内径に合わせて防水層を切り取る。
- 2) 本体ボルトに④ストロングカバー、⑤スプリングワッシャー、⑥押し座金、⑦Oリング、⑧挟着プレートの順に組み込む。
- 3) ⑧本体ボルトの取り付けは、工具等を用い、インサート底部に当たるまで、完全に締込む。



- 1) 挟着プレートの背面に押し座金、スプリングワッシャーが完全に密着するまで、ストロングカバーのナットを締込む。
⑨ 締付けが足りないときは、カバーと防水層に間隙が生じる。

機構および名称



より完璧に...

ON-KNITシリーズ第2弾、O.K丸環はO.Kドレイン同様、建築部材を防水の観点から雨仕舞を真剣に考え、より完璧をめざした製品です。



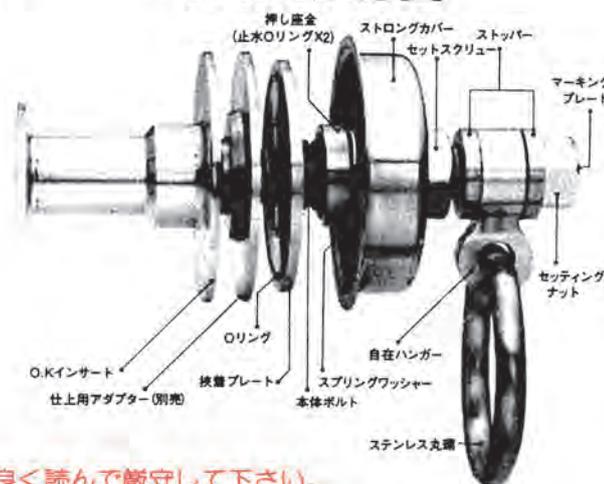
ハイグレードステンレス **OK** 丸環価格表

ON-KNIT

全方向自在式 O.K 丸環	SUS 304 M 30 × 19φ	39,500	仕上用アダプター(標準型)	調整範囲 10 ~ 25 %	3,700
〃	SUS 304 M 22 × 16φ	28,500	〃	〃	2,800

※ 仮止めスペーサー、ボルトは標準付属品です。
 ※ 調整範囲10~25%以上のものは特注となり別途御見積り致します。

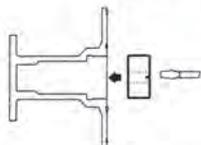
使用説明書



■ 施工手順

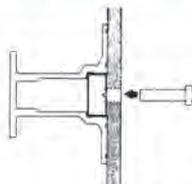
④ — 線については良く読んで厳守して下さい。

①



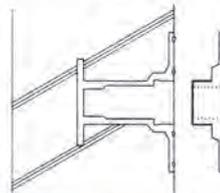
O.Kインサートに仮止めスペーサーをセットする。ドライバー等を用い挟着面より出ない様最後まで締める。

②



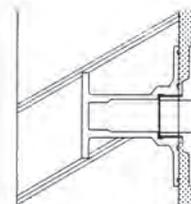
丸環位置を決め、型枠パネルに仮止めボルト(1/2 × 40%)で固定する。(型枠脱型後は仮止めスペーサーを除去)

③



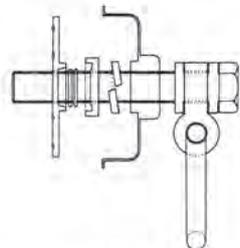
モルタル仕上げの場合は仕上用アダプターを取付け、モルタル塗り代を調整する(10%~25%)

④



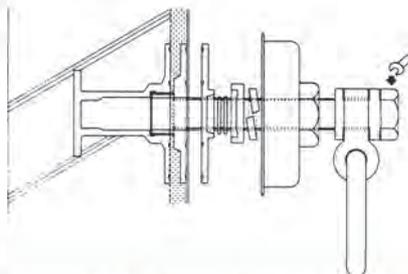
O.Kインサート内径(又は仕上げアダプター)に合わせ、防水層を切り取る。又は防水層を貼り付け後、必ずマーク(しるし)をつける。

⑤



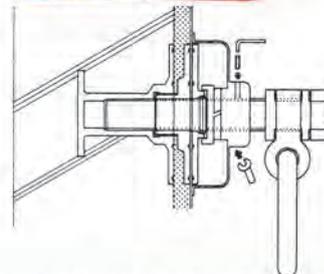
本体ボルトにストロングカバー、スプリングワッシャー、押し座金、Oリング2本、挟着プレートの順に組み込む。

⑥



本体ボルト頭部のセッティングナットを右方向に回転させ、インサート底部に当たる迄完全に締め付ける。
 ※反対方向に回転させるとセッティングナットのみ外れます。

⑦



ストロングカバーのナット部を回転させ、カバー端部が防水層に密着するまで締め込み、戻り止めセットスクリューを本体ボルトに利かし完了する。